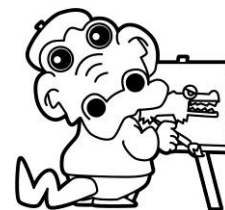


図画工作



(1) 図画工作の大切さ

なぜ、図画工作を学習するのか。

図画工作科の表現及び鑑賞の活動を通して、造形的な見方・考え方を働かせ、生活や社会の中の形や色などと豊かに関わる資質・能力を育成することを目指します。

〈教科の目標〉

- ① **知識及び技能** 対象や事象を捉える造形的な視点について、自分の感覚や行為を通して理解するとともに、材料や用具を使い、表し方などを工夫して、創造的につくったり表したりすることができるようにする。
- ② **思考力・判断力・表現力** 造形的なよさや美しさ、表したいこと、表し方などについて考え、創造的に発想や構想をしたり、作品などに対する自分の見方や感じ方を深めたりすることができるようにする。
- ③ **学びに向かう力、人間性等** つくりだす喜びを味わうとともに、感性を育み、楽しく豊かな生活を創造しようとする態度を養い、豊かな情操を培う。

(2) 図画工作の学習方法

授業では・・・

- ① 児童が自分の感覚や行為を大切にしたい学習活動を行うことで、一人一人の理解を深め「知識」の習得につなげます。また、自分の思いを生かした造形活動を楽しむ過程を通して、「技能」を育成することが重要であると考えています。
- ② 「表現」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、児童が興味関心をもてるような題材の設定や、新たな材料、道具との出会いを大切にします。「鑑賞」を通して、「思考力、判断力、表現力等」を育成するために、作品をつくったり見たりするときに、自分の見方や感じ方を大切にするとともに、他者との対話を通して、様々な見方や感じ方があることを味わい、考えを深めていきます。
- ③ 児童が作品にこめた思いや願いに教師が気付いたり、表現のよさに一緒に感動したりすることで、つくりだす喜びを味わう時間や場面を大切にしていきます。

家庭学習では・・・

○日常生活の中にも色や形がいっぱい！

身の回りは色や形であらわれています。例えば、景色を見て、自然の美しさに感動する、自分に似合う服や靴、帽子などを選んで、コーディネートするなどのように日常生活のいろいろなことが図画工作とつながっています。

○材料は発想力の宝物

図画工作の授業では、材料や道具の準備がとても大切です。普段から、空き箱や発泡トレーなど身近な材料をどのように使うか考えることで、発想力や創造力を身に付けることができます。

○美術館に行こう！

多くの美術作品を鑑賞することで、そのよさや美しさを味わい、自分の見方や感じ方を深めることができます。